



補助金で“PlaRain®”の 多用途開発と認知度拡大

課題

国内外の展示会へ 出展したい

創業以降、農業機械の部品成型加工や水処理フィルターの製造を行い、平成15年からは自動車部品の加工委託でも事業を伸ばしてきた、有限会社和晃プラスチック。

完全な請負体質で、取引先の影響で収益が左右されていたため、デザイナーと協力して自社製品開発に着手。

平成24年には、「しが新事業応援ファンド」の採択を受け、関西若手デザイナーとのコラボレーションにより浄化槽フィルターをインテリア素材として応用した照明器具の開発に取り組んだ。また、この頃から、事業承継を見据えて経営者の長男が事業に従事。おもにインテリア素材「PlaRain®」を担当することとなった。

そして試行錯誤を重ね、平成25年に「PlaRain®」を開発し、商品化を実現した。

認知度の向上と販路拡大を目指すため、経営者は国内外の展示会への出展を考えたが、どのように取り組めばよいか分からなかった。また、「PlaRain®」は素材であるため、どのような分野に応用できるか、その用途開発も課題であった。

そこで、経営者は甲賀市商工会に相談し、専門家派遣や展示会出展、補助金申請などの支援を受けることになった。

支援

さまざまな展示会出展で 認知度を広げる

平成25年に商工会から専門家派遣で中小機構の「Rin crossing 事業」を紹介してもらい、同社は機構の専門家チームの支援を受けてドイツの展示会への出展を果たした。

また同年9月に、経営革新計画の承認を得て、翌年にはものづくり補助金で「PlaRain®」の商品化試作から量産までの生産体制を構築。持続化補助金の活用で、ホームページによる集客システムも構築した。また、その翌年も連続して持続化補助金が採択となり、「PlaRain®」の市場調査・新商品開発、販路開拓に取り組むことができた。

平成28年3月、県から甲賀市の地域産業資源としてプラスチック製品の追加が認定され、7月には商工会の推薦により、「コラボしが21」の展示ギャラリーで、大阪モード学園とのコラボ作品を展示した。

「PlaRain®」を使った照明器具や玩具・家具などさまざま



展示会にも出展し、販路開拓に取り組む

な分野への用途開発を自社で取り組むとともに、補助金を活用しながら展示会等に出展して販路開拓に取り組んできたが、現段階では、大きな売り上げにはつながっていないのが現状だ。

しかし、大手企業との連携で「PlaRain®」を医療機器に応用した新製品開発に取り組み、今後はものづくり補助金を活用して新製品の生産体制の構築にも取り組み、工場増設や従業員採用を行う予定だ。

支援の経過

期間	支援内容
H25年6・9月	海外展示会出展支援、経営革新計画策定支援
H26年5月	ものづくり補助金・持続化補助金の申請支援
H27年5月	持続化補助金の申請支援
H30年2月	経営力向上計画・経営革新計画の策定支援
4月	ものづくり補助金の申請支援
H31年1月	地域経済牽引事業計画策定と申請支援

会社概要

会社名：有限会社和晃プラスチック
 住所：滋賀県甲賀市土山町大野4810-1
 電話番号：0748-67-8047
 URL：http://wakopura.co.jp
 代表者名：代表取締役 村木和好
 創業年：平成2年
 年間売上高：2億3272万円（平成29年）
 従業員数：14名
 商工会名・担当者名：甲賀市商工会・北野行雄